

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	CITY FOOTBALL ACADEMY
設置者名	学校法人 栃木シティ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	プロフットボール学科	夜・通信	352 単位時間	160 単位時間	
	フットボールビジネス学科	夜・通信	352 単位時間	160 単位時間	
	マネージャー/ホパイロ学科	夜・通信	352 単位時間	160 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	CITY FOOTBALL ACADEMY
設置者名	学校法人 栃木シティ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて公表

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 役員	2023/4/1 ~ 2027/3/31	組織運営体制の チェック機能
非常勤	スポーツクラブ GM	2023/4/1 ~ 2027/3/31	組織運営体制の チェック機能
(備考) 2名とも学外者			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	CITY FOOTBALL ACADEMY
設置者名	学校法人 栃木シティ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取り組みの概要)</p> <p>1. 授業計画 (シラバス) について 毎年度教職員会議等で授業科目の設定および講義内容について検討する。学生の成績や意見、実習先機関からの意見等の振り返りを行い検討し、1 月～3 月に各担当講師が授業計画を作成する。</p> <p>2. 公表について 授業計画 (シラバス) は、前年に担当教員が作成して校内承認後、当該年度の 4 月にHP上に公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	HP上での公開のほか、教職員室に閲覧用を備え付け、閲覧可能な状態にする。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

学則において、出席、試験および卒業要件について規定し、当該規定を遵守して各学生の学修成果に対し厳格な評価を実施する。

1. 卒業について

各学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、各学科の卒業に必要な授業科目および単位等を修得し、卒業審査に合格した者について卒業できる。その者には卒業証書を授与する。

2. 学業成績について

学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって、これを定める。ただし、授業科目によってはその他の方法で審査することができる。

3. 授業について

すべての授業科目において、出席・欠席・遅刻早退を記録する。各学科の授業科目や授業時間、授業科目の単位数は、各学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションやガイダンスなどで確認する。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

規定出席率を充足したうえで、定期試験(筆記・実習)の成績を主として、レポート及び臨時試験、授業態度等を総合のうえ、下記のA～Eまでの5段階評価において履修科目ごとに認定している。

半期終了科目については100点満点で、通年終了科目については前期で40点、後期で60点を分配し、学年末に合計100点満点として下記評価を行う。

定期試験は前期、後期に各1回実施する。

・評価

A評価	90点以上	合格
B評価	80点以上 90点未満	合格
C評価	70点以上 80点未満	合格
D評価	60点以上 70点未満	合格
E評価	60点未満	不合格

定期試験等の成績が「E」となった場合は、学校が認めた場合に限り、再試験の受験を認める。再試験を実施した場合は、得点の如何を問わず、評価は「D」とする。定期試験を受験できず、かつその理由を学校がやむを得ないと判断したときは、追試験を実施する。

GPAへの換算：A→4、B→3、C→2、D→1、E→0

GPA算定

$$\text{GPA} = \frac{(\text{履修科目のGPA} \times \text{履修単位数}) \text{の総和}}{\text{総履修単位数}}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法	HP上での公開のほか、教職員室に閲覧用を備え付け、閲覧可能な状態にする。
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定については、卒業判定会議において下記の基準を超えたものに対して認めている。</p> <p>本校カリキュラムに定めるすべての科目の成績評価（60点以上）、並びに出席日数等（4分の3以上の出席）の基準を満たしていること。</p> <p>各学科の卒業必要単位数は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) プロフットボール学科 85単位（1,940時間） (2) フットボールビジネス学科 90.5単位（2,014時間） (3) マネージャー／ホペイロ学科 90.5単位（2,014時間） 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	HP上での公開のほか、教職員室に閲覧用を備え付け、閲覧可能な状態にする。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	CITY FOOTBALL ACADEMY
設置者名	学校法人 栃木シティ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPで公表
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	プロフットボール学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,940 時間	788 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	1152 単位時間
			1,940単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		26人	人	2人	1人	3人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

(概要) 個別相談・指導等に対応する。他に学生の事情に応じ、家庭への電話・メール等で連絡する。個人面談、保護者との連携等を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	専門課程	フットボールビジネス 学科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,014 時間	894 時間	0 単位時間	1120 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
		2,014 単位時間					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	2人	人	2人	1人	3人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 個別相談・指導で対応する。他に学生の事情に応じ、家庭への電話・メール等で連絡する。個人面談、保護者への連携等を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
----	-----	-----	-----	-------

文化・教養		専門課程	マネージャー/ホペイ ロ学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,014 時間	894 単位時間	0 単位時間	1120 単位時間	0 単位時間	0 時間
			2,014 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		8人	人	2人	1人	3人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 個別相談・指導で対応する。他に学生の事情に応じ、家庭への電話、メール等で連絡する。個人面談、保護者への連携等を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
各科共通	100,000 円	720,000 円	930,000 円	施設整備費 270,000 円 諸経費 500,000 円 維持費 160,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2023 年度評価についてはHP 上に公開予定 掲載予定 URL : https://city-football-academy.jp/about/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) ・学校経営の改革方針や自己評価等の質を高め、次への改善につなげる。 ・学校運営や教育活動への学校関係者の協力や参画を得て、地域に開かれ信頼した学校づくりを進める。 ・校長は学校関係者評価の結果をもとに適切な支援や条件整備等の改善措置を講じる。 ・評価項目は、教育理念、学校運営、教育活動、学習成果、教育環境、社会貢献・地域貢献を中心とした 10 項目とする。 ・評価委員の構成は、企業、業界、地域、高校等の分野から 1 名以上とする。 ・評価委員は学校設置後速やかに選任する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別

学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP で公表		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL : https://city-football-academy.jp/about/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	
設置者名	

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		人	人	人
内 訳	第Ⅰ区分	人	人	
	第Ⅱ区分	人	人	
	第Ⅲ区分	人	人	
家計急変による支援対象者 (年間)				人
合計 (年間)				人

(備考)

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。
 ※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	人
----	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学(修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。)、 高等専門学校(認定専攻科を含む。) 及び専門学校(修業年限が2年以 下のものに限る。)		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	人	人	人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	人	人	人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	人	人	人
「警告」の区分に 連続して該当	人	人	人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	人
3月以上の停学	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	人
訓告	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 （単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下）	人	人	人
G P A等が下位4分の1	人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	人	人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。